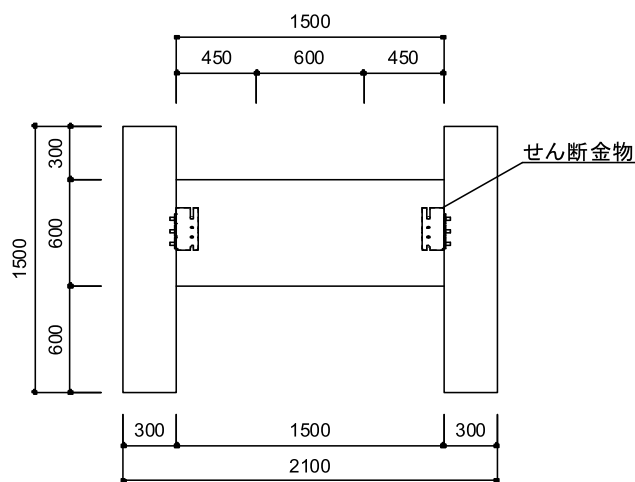
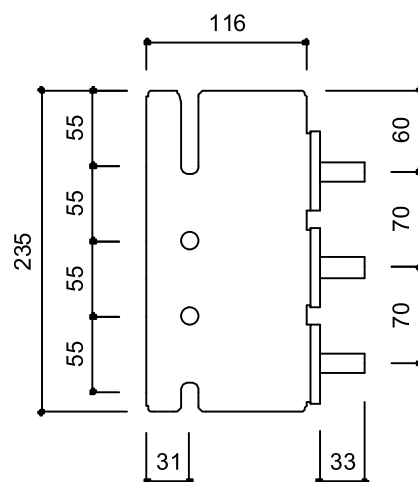


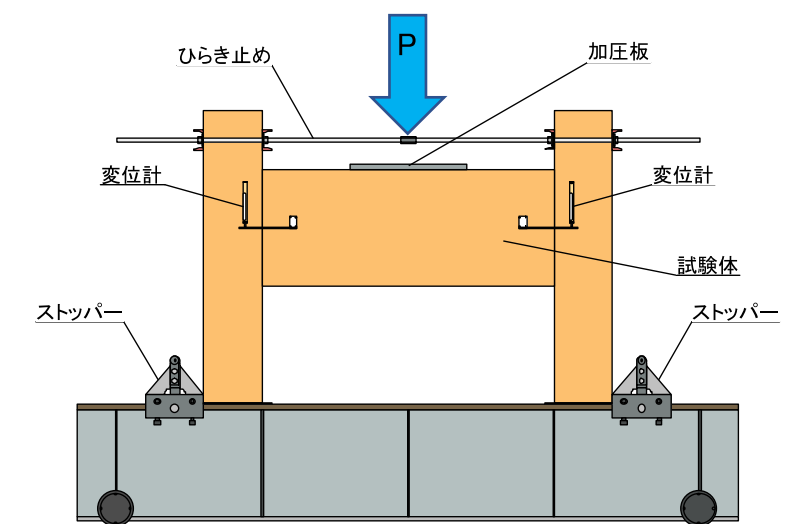
● 姿図・寸法



試験体図 Sh-A (単位: mm)



せん断金物詳細図 (単位: mm)



加力装置 (単位: mm)

【使用材料】

母材：集成材（スギ E65-F225 断面 105mm × 300mm、105mm × 600mm）

せん断金物：カネシン後施工金物 3 ドリフトピン ϕ 12

● 適用条件

接合部にせん断キーとして用いる。

● 概要

105mm × 300mm のスギ集成材にせん断金物を上図の配置で取り付け、ドリフトピンを用いて、105mm × 600mm の集成材を接合した試験体である。

試験は一方方向繰り返し加力による荷重を加え、繰り返し履歴は、予備試験から得られた降伏荷重変位 δ_y の 1/2、1、2、4、6、8、12、16 倍とした。

● 接合具（メーカー、入手方法）

後施工金物 3（製造、販売：BX カネシン（株））

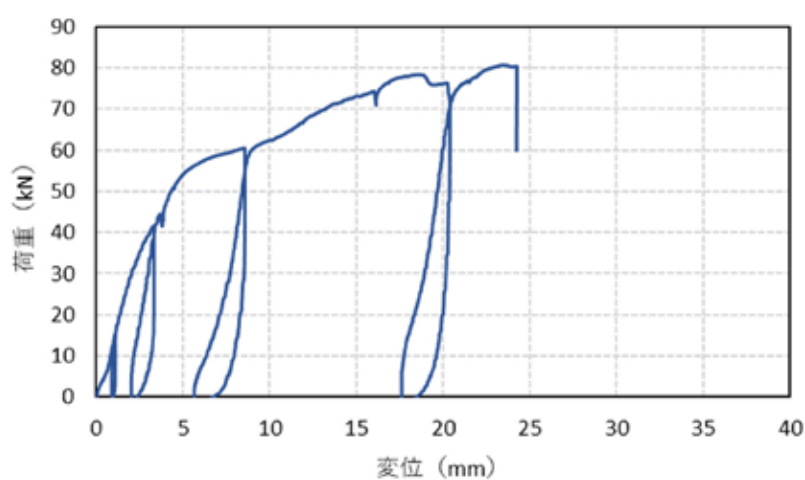
● 問い合わせ先 URL <https://www.kaneshin.co.jp/>

●特性値

試験体名	No.	初期剛性 (kN/mm)		降伏耐力 (kN)		最大耐力 (kN)		短期基準耐力 (kN)
Sh-A	1	14.51	13.93	43.13	46.07	71.15	77.30	35.59
	2	13.50		49.28		82.94		
	3	11.81		42.27		74.53		
	4	15.89		49.60		80.59		

ここでの初期剛性は、モーメント－変形角関係における最大モーメントの0.1倍と0.4倍の点を結んだ直線の傾きとした。

●荷重 - 変形関係

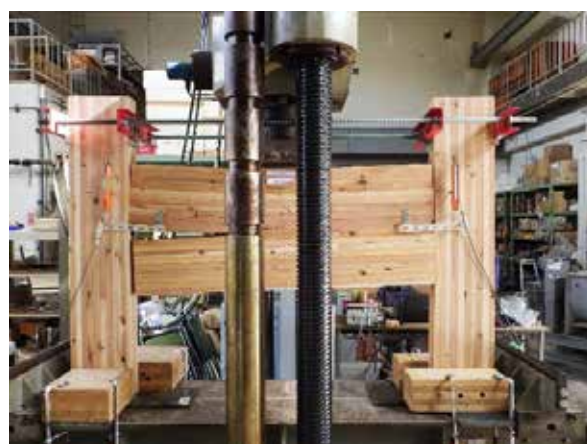


●破壊性状

全ての試験体で、梁の割れが生じた。梁の割れは、有効に効く最も下のドリフトピン位置で最初に発生し、荷重の上昇とともに広がっていった。



梁の割れ



梁の割れ